



Grow the new Story.  
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

# 2023年3月期 決算説明資料

2023年4月28日  
SGホールディングス株式会社

---

<b>1.</b>	<b>2023年3月期 決算概要</b>	<b>1 ~ 9</b>
2.	中期経営計画の進捗	10 ~ 13
3.	2024年3月期 業績予想	14 ~ 19
4.	参考資料	20 ~ 27

---

## 2023年3月期のハイライト

デリバリー事業では、経済社会活動の制限緩和やEC市場規模の拡大等を背景に宅配便の取扱個数は堅調に推移したが、第3四半期後半以降、荷動きが鈍化。  
ロジスティクス事業では、サプライチェーンの混乱が招いた米国内での過剰な在庫水準の継続等により、海上・航空貨物の取扱量は大幅に減少。一方、国内ではGOAL<sup>®(1)</sup>による包括的なソリューション提案等により、新規案件を受託するなど堅調に推移。

### ● 業界関連

- ・ コロナ禍を契機とした新たな生活様式の定着化が進み、宅配便に対するニーズが多様化
- ・ 「2024年問題」における時間外労働時間の上限規制に向けた対応や、急激なインフレの進行等を背景に、当社グループを含む大手事業者を中心に価格改定の動きが加速
- ・ 世界経済減速等に伴い、国際輸送需要は縮小傾向。サプライチェーン混乱による運賃高騰は平常化

### ● 当社業績の概況

- ・ 宅配便は、物価調整後の家計の消費支出の弱まり等を背景に、第3四半期後半以降荷動きが鈍化
- ・ 平均単価は、適正運賃收受の取組みを継続しているが、大型荷物減少等の影響によりわずかに低下
- ・ インフレ等によるコスト上昇は取扱個数に応じた人員配置や生産性向上の取組みでコントロール
- ・ TMS<sup>(2)</sup>は積極的な提案営業活動により、前年を上回って推移
- ・ 海上・航空貨物の取扱量は米国内の過剰な在庫水準の継続等により、大幅に減少

注記 (1)「GOAL<sup>®</sup>」はSGホールディングス株の登録商標 (2) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

## 連結業績サマリー

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	前期比
営業収益	15,883	14,346	90.3%
営業利益 (営業利益率)	1,557 (9.8%)	1,352 (9.4%)	86.9%
経常利益	1,602	1,379	86.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,067	1,265	118.5%
(円)			
年間配当金	50	51	

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

### ■ 当社グループの業績（前期との比較）

- 営業収益：  $\Delta$ 1,537億円
  - 営業利益：  $\Delta$  204億円
  - 経常利益：  $\Delta$  223億円
  - 親会社株主に帰属する当期純利益：  $+$  197億円
- ※主な特別利益：投資有価証券売却益（ロジスティード株式会社\*）

\* 2023年4月1日付で株式会社日立物流から商号変更

### ■ 2023年3月期 配当金

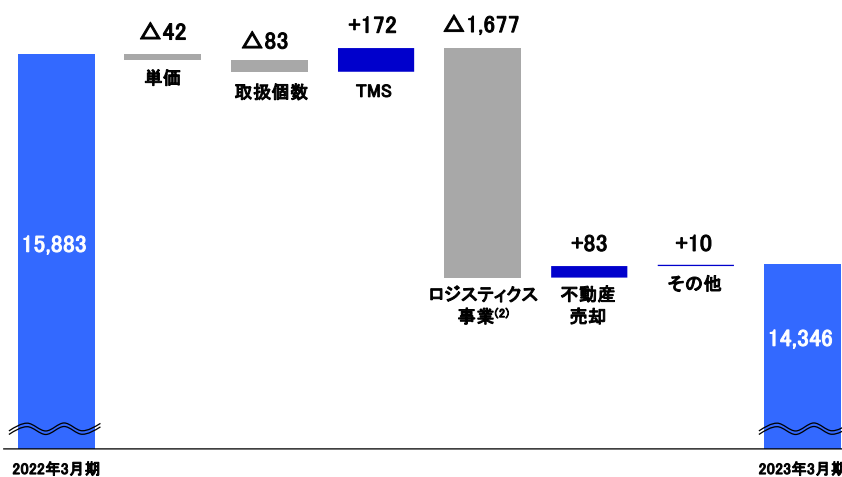
- ・中間 25円（前期 20円）
- ・期末 26円（前期 30円）

### 【参考】

- ROE : 24.1%（前期は23.9%）

## 営業収益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

### ■ 実績（前期との比較）

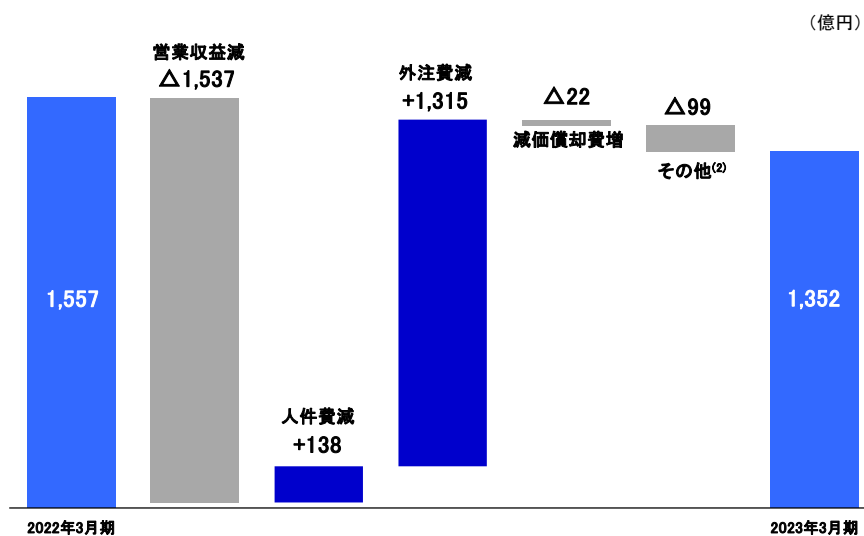
- 平均単価 : 643円 (△ 3円)
- 取扱個数 : 1,410百万個 (△ 12百万個)
- TMS : 1,197億円 (+ 172億円)

(参考) 稼働日前年増減 : 平日+1、土曜△1、日曜祝日±0

### ■ エクスポランカ社（ロジスティクス事業）の実績

- 営業収益 : 2,073億円 (前期差 △1,703億円 前期比 54.9%)

## 営業利益の増減分析



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

## ■ 主な費用の内訳

(億円)

科目	2023年3月期	前期差	前期比	主な要因
人件費	4,301	△ 138	96.9%	デリバリー事業の人員適正化及び効率化等 (前期特殊要因:見舞金の支給)
外注費	6,729	△ 1,315	83.6%	ロジスティクス事業の減収等
減価償却費	326	+ 22	107.3%	海外事業・佐川急便の施設投資等
その他 (燃料費含む)	1,635	+ 99	106.4%	燃料費・光熱費の増加、 不動産販売原価の増加等
合計	12,993	△ 1,333	90.7%	

## セグメント別業績

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	前期比
<b>営業収益 合計</b>	15,883	14,346	90.3%
デリバリー事業	10,431	10,473	100.4%
ロジスティクス事業	4,770	3,148	66.0%
不動産事業	112	195	173.1%
その他の事業	568	528	92.9%
<b>営業利益 合計</b>	1,557	1,352	86.9%
デリバリー事業	932	997	107.0%
ロジスティクス事業	484	192	39.7%
不動産事業	66	99	150.3%
その他の事業	46	42	92.2%
調整額	27	20	73.2%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

### ■ 主な営業利益の増減の内訳（前期との比較）

- デリバリー事業                   : + 65億円
  - TMSの取扱増加
  - デジタライゼーション等効率化の取組み
  - 人員の適正化（前期特殊要因：見舞金の支給）
- ロジスティクス事業           : △ 292億円
  - エクスポランカ社           : △ 302億円
- 不動産事業                     : + 33億円
  - 不動産販売物件による差異

## セグメント別業績概要

### デリバリー事業

- 平均単価は、適正運賃収受の取組みを継続しているものの、大型荷物減少等によりわずかに低下
- 取扱個数は、第3四半期後半以降荷動きが鈍化。通期で前年を下回る
- インフレ等によるコスト上昇は取扱個数に応じた人員配置や生産性向上の取組みでコントロール
- TMSは積極的な提案営業活動により、前年を上回って推移
- 2022年10月に大型中継センター新設計画（兵庫県尼崎市、2026年7月稼働予定）を公表する等、宅配便市場の中長期的な成長等を見据えた宅配便ネットワークの維持・向上のための投資を継続

### ロジスティクス事業

- 海上・航空貨物取扱量は、世界経済減速、米国での過剰な在庫水準継続等に伴い、大幅に減少
- サプライチェーン混乱による運賃高騰の平常化に伴い、海上・航空運賃は大幅に下落
- 中長期的成長に向けて、アメリカの通関事業者、カナダのフォワーディング事業者を子会社化
- 国内では、GOAL<sup>®</sup>による包括的なソリューション提案等により堅調に推移

### 不動産事業

- 当初計画通り、第4四半期に保有不動産を売却

### その他の事業

- GOAL<sup>®</sup>でのトータルロジスティクス提案による物流IT案件の取引が増加
- 半導体不足等の影響により新車販売が減少



## 連結キャッシュ・フロー計算書

### 主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2022年3月期末	2023年3月期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	818	1,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 452	280
フリーキャッシュ・フロー <sup>(2)</sup>	365	1,934
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 253	△ 1,054
現金及び現金同等物の増減額	182	908
現金及び現金同等物の期末残高	873	1,782

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

8

## ■ 連結キャッシュ・フロー

・ 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,653億円
主な内容：	
税金等調整前当期純利益	1,874億円
減価償却費	324億円
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 70億円
投資有価証券売却損益 (△は益)	△ 497億円
売上債権の増減額 (△は増加)	686億円
棚卸資産の増減額 (△は増加)	62億円
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 191億円
預り金の増減額 (△は減少)	△ 31億円
法人税等の支払額	△ 530億円
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー	280億円
主な内容：	
有形固定資産の取得による支出	△ 246億円
無形固定資産の取得による支出	△ 67億円
投資有価証券の売却による収入	720億円
新規子会社株式取得による支出	△ 120億円
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,054億円
主な内容：	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△ 179億円
長期借入金の返済による支出	△ 264億円
リース債務の返済による支出	△ 69億円
セール・アンド・リースバックによる収入	35億円
エクスポランカ社株式の追加取得	△ 112億円
自己株式の取得による支出	△ 100億円
配当金の支払額	△ 366億円

## 連結貸借対照表

(億円)	2022年3月期末	2023年3月期末	(億円)	2022年3月期末	2023年3月期末
流動資産	3,896	4,065	負債	4,098	3,375
現金及び預金	873	1,782	買掛債務	937	765
営業債権及び その他の債権	2,478	1,853	有利子負債	1,352	972
棚卸資産	297	219	その他	1,808	1,637
その他流動資産	247	210	純資産	5,119	5,674
固定資産	5,321	4,984	親会社株主帰属分	4,963	5,538
有形固定資産	3,872	3,922	非支配株主持分	155	135
のれん	23	120			
その他固定資産	1,424	941			
資産合計	9,217	9,049	負債純資産合計	9,217	9,049

注記 (1) 億円未満切り捨て

### ■ 自己資本比率

- 自己資本比率： 61.2% (前期末比 +7.4ポイント)

---

1.	2023年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	<b>中期経営計画の進捗</b>	<b>10 ~ 13</b>
3.	2024年3月期 業績予想	14 ~ 19
4.	参考資料	20 ~ 27

2022年度～2024年度

中期経営計画

SGH Story 2024

<基本方針>

持続可能な成長を実現する  
次世代の競争優位性創出

<重点戦略>

- ① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化
- ② 競争優位創出につながる経営資源の拡充
- ③ ガバナンスの更なる高度化

経営戦略

① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化

- 脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進
- TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化
- 国際・海外向けサービスの強化
- 宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

② 競争優位創出につながる経営資源の拡充

- アライアンスを含めた国内外輸送ネットワークの強化
- 人的資本への投資及びエンゲージメントの向上
- DXへの投資による競争優位の創出
- オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造

③ ガバナンスの更なる高度化

- グローバル化に対応したガバナンスの構築
- コンプライアンスの継続的な高度化

## 「SGH Story 2024」進捗状況と2024年3月期の方針

### 重点戦略の進捗状況

	総合物流ソリューション (GOAL®) の高度化	競争優位創出につながる 経営資源の拡充	ガバナンスの更なる高度化
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TMS、3PL、日本発着国際便の取扱増加</li> <li>● 宅配便の効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パートナー企業との連携強化</li> <li>● 生産性向上・既存サービス強化のためのIT投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外事業会社の内部統制整備</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TMS、3PL、日本発着国際便の更なる成長</li> <li>● 宅配便の更なる品質向上・効率化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高度な専門人材育成・獲得</li> <li>● オープンイノベーション加速</li> </ul>	



環境変化

国内インフレ進行  
世界経済停滞

### 2024年3月期方針

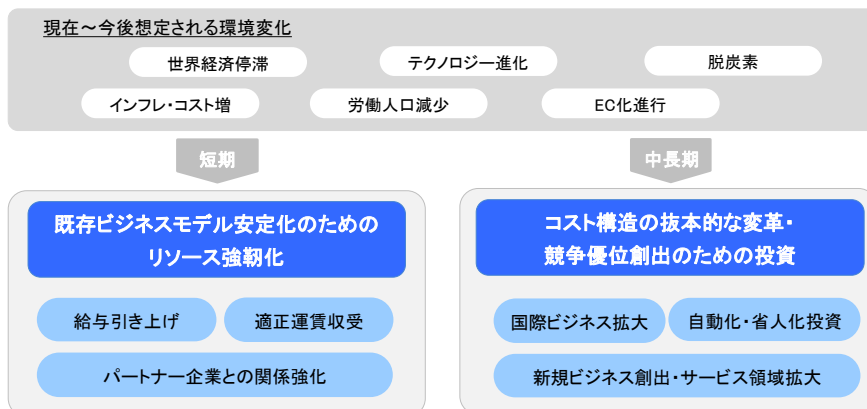
中期経営計画「SGH Story 2024」の重点戦略10項目を継続

Point

『社内外リソース強靱化』及び『サービス領域拡張』による成長基盤の確立

「SGH Story 2024」 2024年3月期の強化ポイント

環境変化への対応と強化ポイント



「SGH Story 2024」基本方針 持続可能な成長を実現する次世代の競争優位創出 を具現化

---

1.	2023年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	中期経営計画の進捗	10 ~ 13
<b>3.</b>	<b>2024年3月期 業績予想</b>	<b>14 ~ 19</b>
4.	参考資料	20 ~ 27

## 連結業績予想及び配当予想

		2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	前期比
(億円)				
営業収益		14,346	13,800	96%
営業利益 (営業利益率)		1,352 (9.4%)	1,055 (7.6%)	78%
経常利益		1,379	1,065	77%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,265	715	57%
(円)				
1株当たり 配当金	第2四半期末	25	26	+1
	期末	26	26	
	合計	51	52	

※株主還元の強化・資本効率向上を目的に、2023年5月1日～9月22日の期間で総額100億円(上限)の自己株式取得を決定

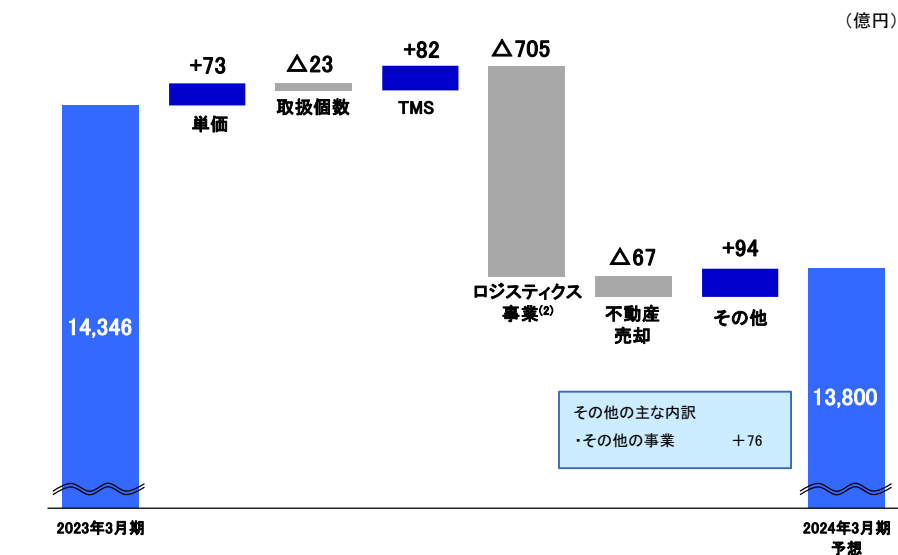
注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2024年3月期業績予想の前提: 子リバー事業平均単価648円、取扱個数14.0億個

### ■ 2024年3月期業績予想 (前期との比較)

- 営業収益 : △ 546億円
- 営業利益 : △ 297億円
- 経常利益 : △ 314億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益 : △ 550億円



## 営業収益予想の増減分析



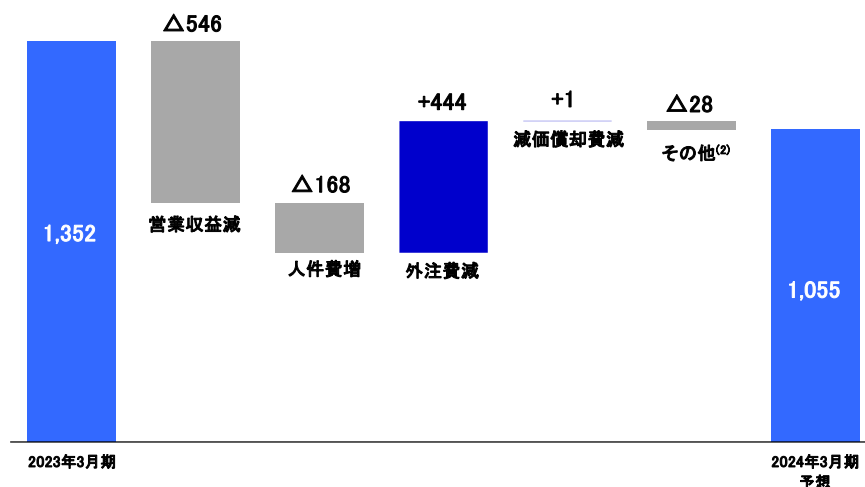
注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMSを除く

### ■ 2024年3月期業績予想

- 平均単価 : 648円 (前期差 +5円)
- 取扱個数 : 14.0億個 (前期比 99%)
- TMS : 1,280億円 (前期比 107%)

## 営業利益予想の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

### ■ 2024年3月期業績予想

- 人件費 : 4,470億円 (前期比 104%)
- 外注費 : 6,285億円 (前期比 93%)
- 減価償却費 : 325億円 (前期比 99%)

## 連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2023年3月期 第2四半期累計 実績	2024年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期比
営業収益	7,513	6,670	89%
営業利益 (営業利益率)	641 ( 8.5%)	430 ( 6.4%)	67%
経常利益	665	430	65%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	519	285	55%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

18

### ■ 2024年3月期第2四半期の業績予想 (前年同期との比較)

- 営業収益 :  $\Delta$  843億円
- 営業利益 :  $\Delta$  211億円
- 経常利益 :  $\Delta$  235億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 :  $\Delta$  234億円

## セグメント別業績予想

(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 業績予想	前期比
<b>営業収益 合計</b>	14,346	13,800	96%
デリバリー事業	10,473	10,620	101%
ロジスティクス事業	3,148	2,450	78%
不動産事業	195	125	64%
その他の事業	528	605	115%
<b>営業利益 合計</b>	1,352	1,055	78%
デリバリー事業	997	830	83%
ロジスティクス事業	192	95	49%
不動産事業	99	75	75%
その他の事業	42	45	105%
調整額	20	10	49%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

19

### ■ セグメント別業績予想（前期との比較）

・ 営業収益	△ 546億円
デリバリー事業	+ 146億円
ロジスティクス事業	△ 698億円
不動産事業	△ 70億円
その他の事業	+ 76億円

・ 営業利益	△ 297億円
デリバリー事業	△ 167億円
ロジスティクス事業	△ 97億円
不動産事業	△ 24億円
その他の事業	+ 2億円
調整額	△ 10億円

### ・ ロジスティクス事業 業績予想の前提

#### エクスポランカ社業績・取扱数量予想

業績	： 営業収益	1,370億円	（前期比 66%）
	営業利益	60億円	（前期比 44%）
取扱数量	： 航空	80千t	（前期比 76%）
	海上	160千TEU	（前期比 79%）

為替レートは1\$=130円で予想

\*エクスポランカ社業績はIFRS基準に基づく

---

1.	2023年3月期 決算概要	1 ~ 9
2.	中期経営計画の進捗	10 ~ 13
3.	2024年3月期 業績予想	14 ~ 19
4.	<b>参考資料</b>	20 ~ 27

## 連結業績サマリー(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
営業収益	3,869	111.3%	3,643	96.3%	3,642	82.7%	3,190	75.7%	14,346	90.3%
営業利益 (営業利益率)	332 (8.6%)	115.1%	308 (8.5%)	103.1%	424 (11.7%)	75.8%	286 (9.0%)	70.2%	1,352 (9.4%)	86.9%
経常利益	357	120.8%	307	105.3%	436	75.5%	277	63.6%	1,379	86.1%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	234	113.5%	285	148.7%	560	139.5%	185	69.3%	1,265	118.5%

注記 (1) 億円未満切り捨て

## セグメント別業績(四半期連結会計期間)

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年比
<b>営業収益 合計</b>	<b>3,869</b>	<b>111.3%</b>	<b>3,643</b>	<b>96.3%</b>	<b>3,642</b>	<b>82.7%</b>	<b>3,190</b>	<b>75.7%</b>	<b>14,346</b>	<b>90.3%</b>
デリバリー事業	2,584	101.6%	2,589	102.4%	2,848	100.6%	2,450	96.9%	10,473	100.4%
ロジスティクス事業	1,140	148.0%	904	83.5%	643	45.5%	459	30.6%	3,148	66.0%
不動産事業	19	95.6%	17	97.9%	17	97.1%	140	249.4%	195	173.1%
その他の事業	124	88.4%	131	85.3%	132	92.4%	139	107.3%	528	92.9%
<b>営業利益 合計</b>	<b>332</b>	<b>115.1%</b>	<b>308</b>	<b>103.1%</b>	<b>424</b>	<b>75.8%</b>	<b>286</b>	<b>70.2%</b>	<b>1,352</b>	<b>86.9%</b>
デリバリー事業	219	108.5%	219	123.5%	368	100.6%	190	102.4%	997	107.0%
ロジスティクス事業	83	145.5%	61	68.5%	34	20.9%	12	7.5%	192	39.7%
不動産事業	10	74.9%	9	87.6%	10	108.5%	68	218.6%	99	150.3%
その他の事業	12	133.0%	12	83.8%	9	84.7%	8	76.2%	42	92.2%
調整額	6	114.2%	5	94.5%	1	20.3%	6	88.7%	20	73.2%

注記 (1) 億円未満切り捨て

## エクスポランカ社の実績

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
営業収益	877	164.5%	625	74.8%	366	30.6%	205	17.0%	2,073	54.9%
営業利益	71	164.5%	43	53.7%	16	11.1%	3	2.5%	136	31.2%
航空 数量 (千t) <sup>(2)</sup>	32	76.7%	29	49.0%	24	42.9%	17	47.2%	105	52.9%
海上 数量 (千TEU) <sup>(2)</sup>	78	109.2%	50	69.8%	37	56.3%	35	51.5%	202	72.2%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て



## 商品・サービスの状況

### デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
取扱個数合計	352	101.3%	347	101.1%	377	98.4%	333	95.6%	1,410	99.1%
飛脚宅配便 <sup>②④</sup>	339	101.6%	334	101.4%	363	98.6%	322	95.8%	1,359	99.3%
その他 <sup>③</sup>	13	94.9%	12	94.3%	13	93.3%	11	91.0%	50	93.4%
平均単価	640	99.2%	643	99.3%	647	99.7%	640	99.9%	643	99.5%

### e-コレクト<sup>④</sup> 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
個数	17	86.2%	16	91.8%	17	93.2%	14	87.4%	65	89.6%
決済金額	1,991	87.5%	1,943	93.3%	2,200	95.4%	1,763	90.8%	7,898	91.8%

### TMSの状況

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
売上高	286	120.7%	306	119.1%	319	120.3%	284	107.7%	1,197	116.9%

### 地域ごとの情報

(億円)	23年3月期		前期比
	23年3月期	前期比	
営業収益		14,346	90.3%
日本		11,930	100.9%
海外		2,415	59.5%

注記 (1) 徳丹未滿切り捨て (2) 飛脚宅配便は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便<sup>④</sup>及びその他の会社の取扱個数  
 (4) 「飛脚宅配便」、「飛脚ラージサイズ宅配便」、「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

## 営業費用の内訳

### 連結決算 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
営業費用 合計	3,536	111.0%	3,335	95.7%	3,218	83.7%	2,903	76.2%	12,993	90.7%
人件費	1,106	101.3%	1,077	96.7%	1,096	96.4%	1,020	93.2%	4,301	96.9%
外注費	1,979	119.4%	1,781	93.3%	1,634	72.8%	1,333	59.7%	6,729	83.6%
燃料費	32	119.7%	34	110.5%	32	101.9%	28	95.5%	128	106.5%
減価償却費	80	110.7%	80	108.1%	82	106.5%	83	104.4%	326	107.3%
その他経費	338	100.4%	360	101.2%	370	104.8%	437	118.3%	1,507	106.4%

### デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		通期	
	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前年同期比	23年3月期	前期比
営業費用 合計	2,485	101.3%	2,491	101.0%	2,606	101.0%	2,373	96.6%	9,956	100.0%
人件費	926	98.6%	894	93.7%	913	95.6%	843	94.0%	3,578	95.5%
外注費	1,215	103.2%	1,241	106.1%	1,331	104.6%	1,180	98.0%	4,968	103.0%
燃料費	31	118.7%	34	110.2%	32	101.0%	28	96.3%	126	106.2%
減価償却費	54	105.7%	53	101.7%	55	102.9%	55	102.2%	219	103.1%
その他経費	257	99.9%	267	103.6%	273	102.6%	265	98.2%	1,063	101.1%

注記 (1) 億円未満切り捨て

## 従業員・車両・拠点の状況

(人、台、拠点)		2022年3月期末	2023年3月期末
連結従業員数	合計	96,536	94,087
(うちパートナー社員等 <sup>(1)</sup> )		( 44,211 )	( 41,819 )
デリバリー事業		78,073	75,105
		( 34,862 )	( 32,321 )
ロジスティクス事業		13,466	13,891
		( 6,992 )	( 7,104 )
不動産事業		72	98
		( - )	( - )
その他の事業		4,179	4,223
		( 2,148 )	( 2,206 )
全社(共通)		746	770
		( 209 )	( 188 )
佐川急便	車両台数	26,742	26,270
	主な拠点数	873	852
	中継センター	23	22
	営業所	429	427
	小規模店舗 <sup>(2)</sup>	421	403

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

## 参考: 連結フリーキャッシュ・フロー見通し

### 主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 見通し <sup>(3)</sup>
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,653	780
投資活動によるキャッシュ・フロー	280	△ 460
フリーキャッシュ・フロー <sup>(2)</sup>	1,934	320

#### ■ 2023年3月期の主な投資(実績)<sup>(3)</sup>

・資本投資	: 120億円
・不動産・施設投資	: 160億円
・車両投資	: 85億円
・IT投資	: 70億円

#### ■ 2024年3月期 主な投資(見通し)<sup>(3)</sup>

・不動産・施設投資	: 200億円
・車両投資	: 140億円
・IT投資	: 100億円

**注記** (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー (3) 数値は概算値



## ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、EC市場の低成長、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。